

1. 社人研推計準拠 及び 独自推計 の総人口比較

別紙1

【 各パターンの推計方法 】

社人研推計準拠

社人研の公表した「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」の最終的な推計結果と整合的な、将来の生存率、純移動率、子ども女性比の各指標を利用した推計

出生に関する仮定値

2035年に1.04、2050年に1.05と1.00を基準に微増した場合を想定

移動に関する仮定値

社会増減の動きが現状のまま推移した場合を想定

独自推計（前向きver.）

町民アンケートの集計結果等を用いて算出した「町民希望出生率」と、若年層の転出超過が緩和された場合を仮定した推計

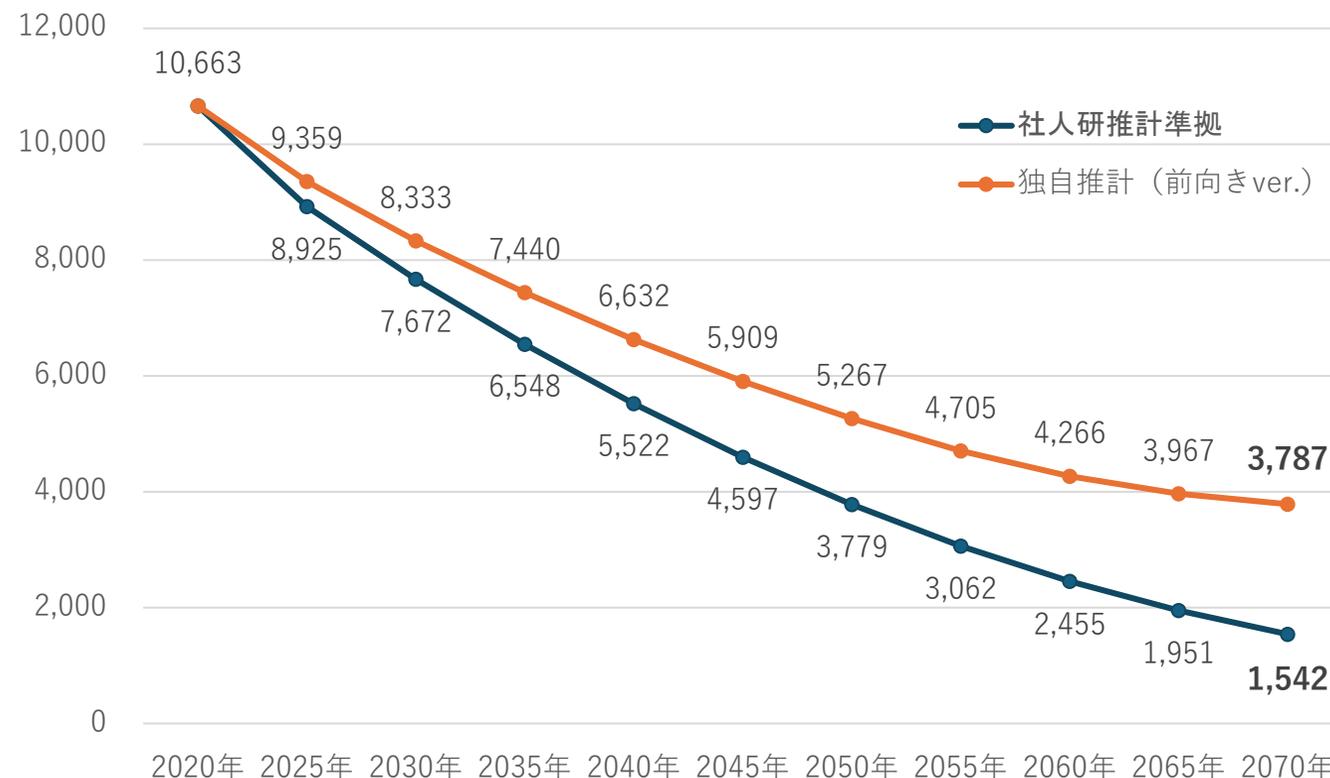
出生に関する仮定値

2040年に町民希望出生率1.78、2050年に国の公表する人口置換水準2.07に到達した場合を想定

移動に関する仮定値

2040-45年に20～39歳若年人口の転出入が均衡し、2045年以降、母親世帯（25～39歳女性）を中心に緩やかに転入増となった場合を想定

将来推計の推移（身延町・総人口）



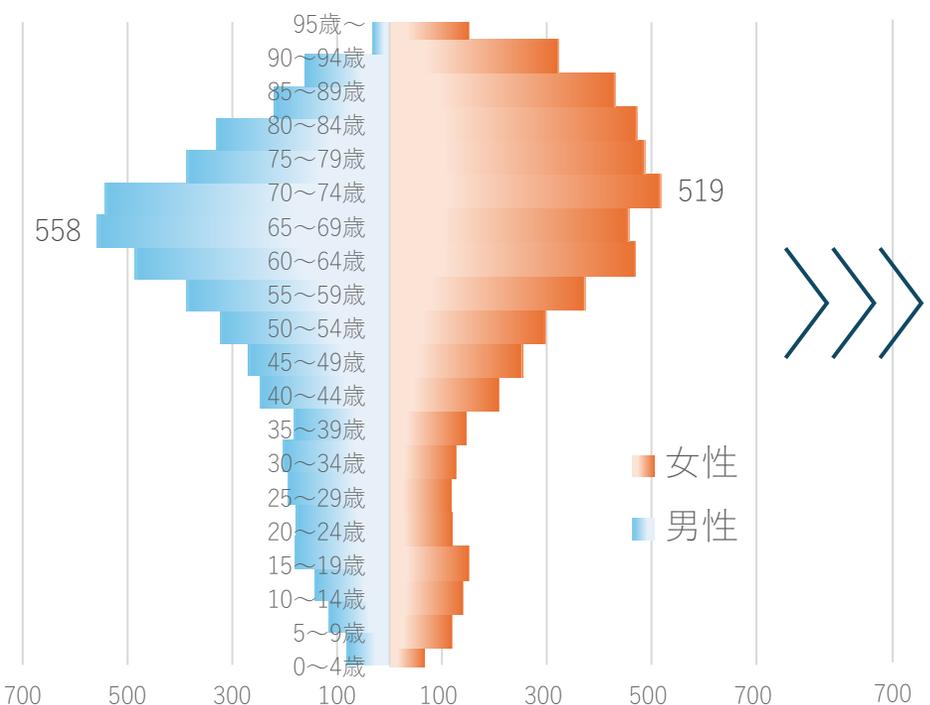
参考：「町民希望出生率」の算出方法

20～39歳女性の未婚・既婚の割合（出典：2020国勢調査）及び、町民アンケートにおいて集計した「理想とする子どもの数」の平均値を用いて算出

2. 社人研推計準拠 及び 独自推計 の人口ピラミッド比較

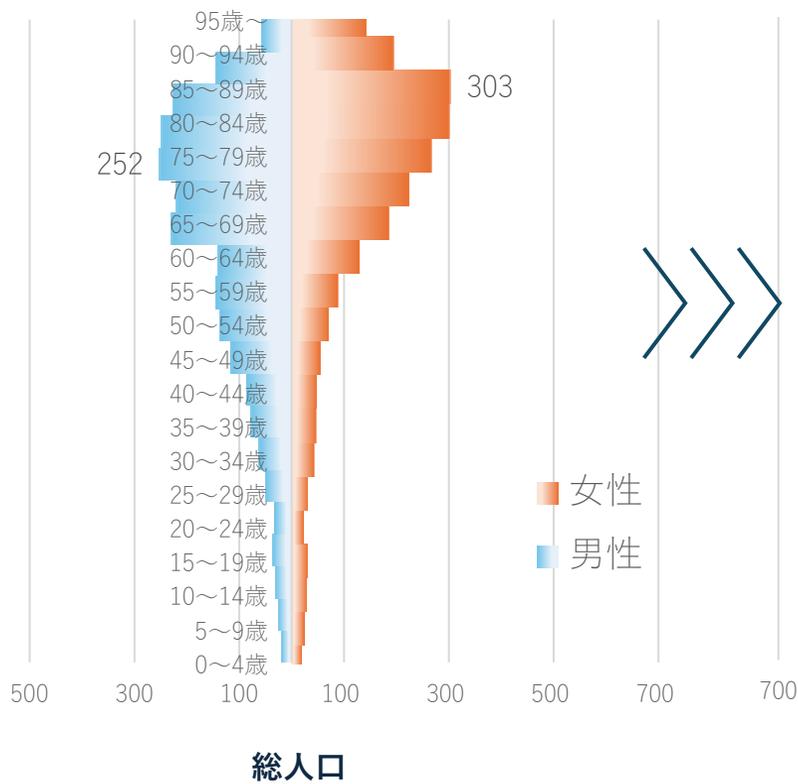
社人研推計準拠

(身延町、2020)



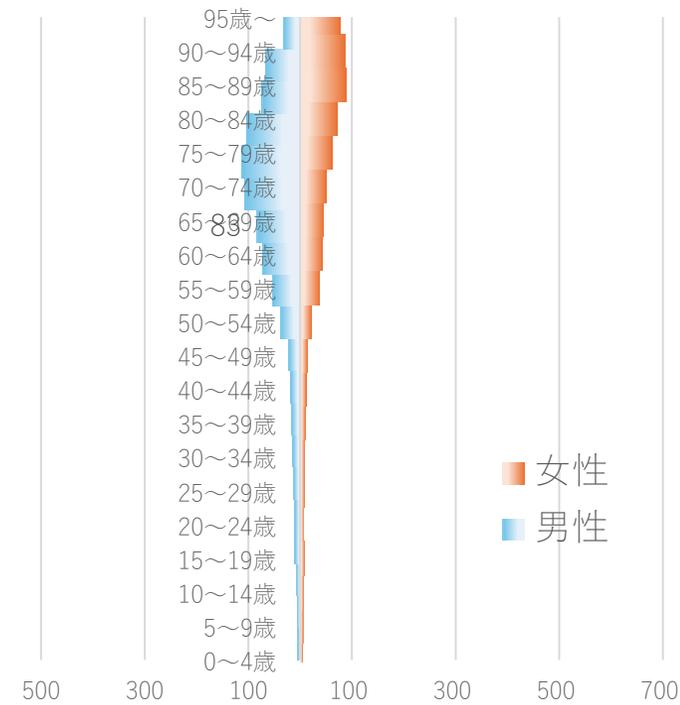
10,663人 (2020)

(身延町、2045)



4,597人 (2045 (推計))

(身延町、2070)

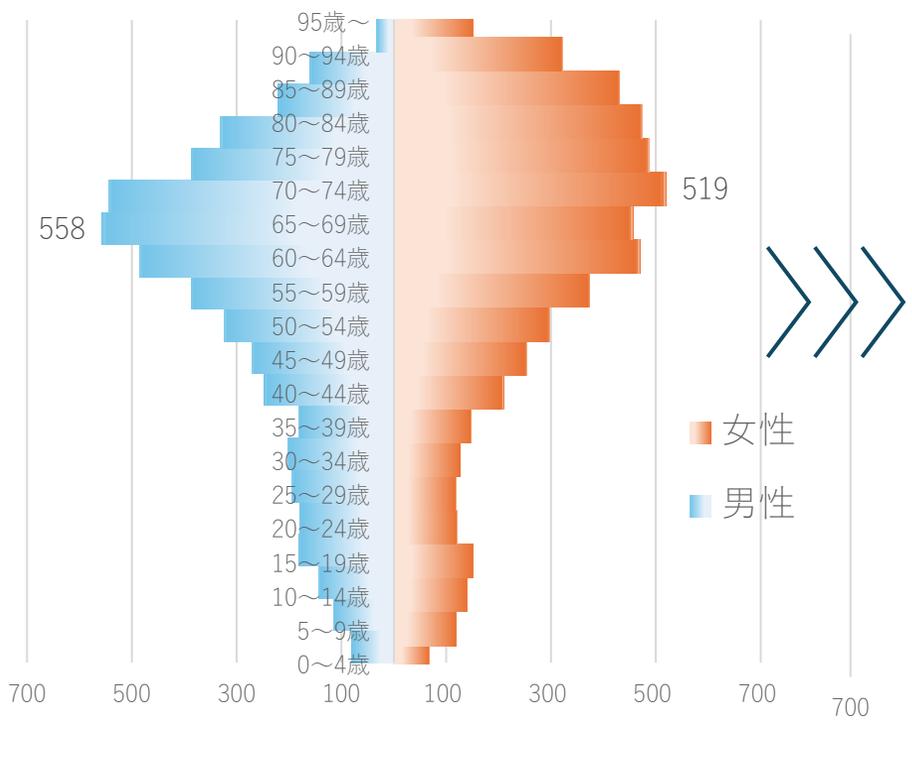


1,542人 (2070 (推計))

2. 社人研推計準拠 及び 独自推計 の人口ピラミッド比較

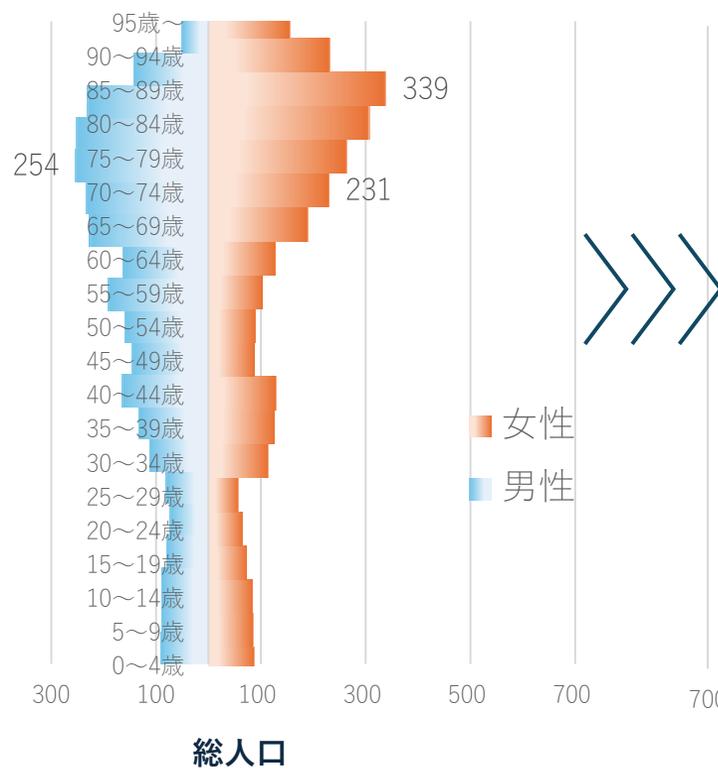
独自推計（前向きver.）

（身延町、2020）



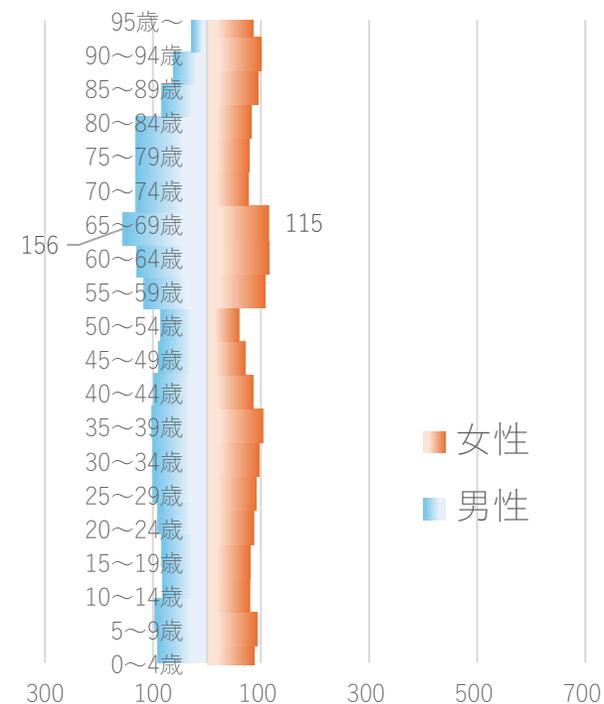
10,663人（2020）

（身延町、2045）



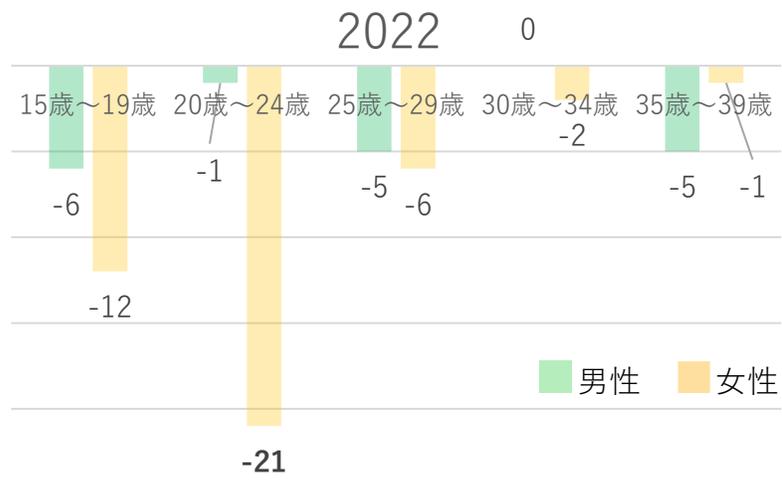
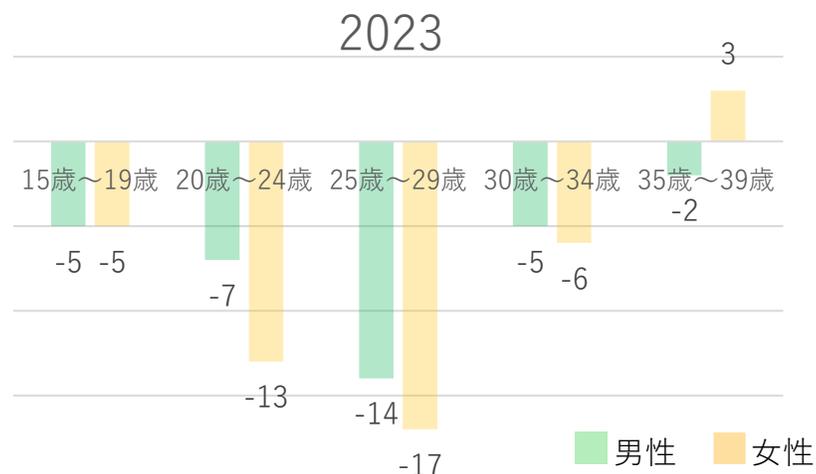
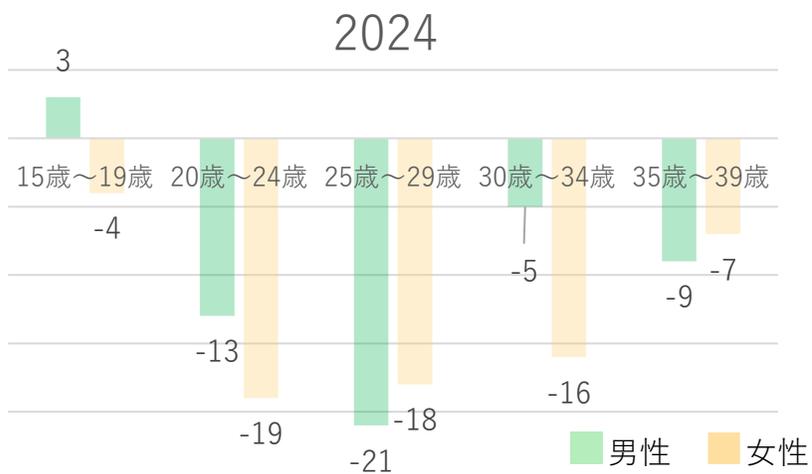
5,909人（2045（推計））

（身延町、2070）



3,787人（2070（推計））

3. 若年層の社会増減の推移



- 身延町は、若年女性の転出超過が著しい。
- 直近3年間の実績を男女で比較すると、15～39歳の年代では男性より女性の方が転出超過数が多い。
- コロナ禍の影響で、地方部において一時的に転出超過が緩和された2022年においても、20歳代女性の転出は一定して続いていた。
- ▶ 人口を少しでも維持するためには若年女性の転出超過緩和の取り組みは必須